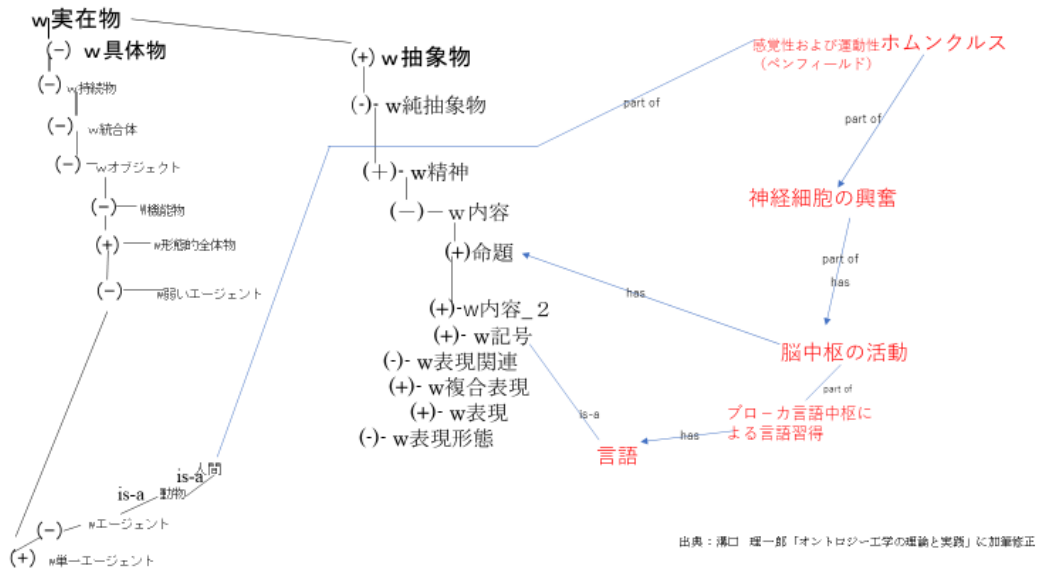


図表 1



図表 2

コンテキストとしての育児の場でのロール概念は

母親のロール概念は「妊娠や出産時の苦痛、育児として赤ん坊に食事排泄等でしつけや仕草を教える」

乳飲み子のロール概念は「誕生直後から最低限自身の生命維持に必要な捕食（お乳を吸う）と排泄と身体の苦痛不具合を訴える（泣き叫ぶ）」

誕生～1ヶ月～の情報伝達は

赤ん坊の

[触覚聴覚視覚嗅覚味覚→身体ホムンクルス→神経細胞の興奮→脳中枢→手足と身体（ホムンクルス）→泣く（わめく）]

と母親の

[触覚聴覚視覚嗅覚味覚→身体ホムンクルス→神経細胞の興奮→脳中枢→手足と身体（ホムンクルス）→脳中枢→授乳と排泄の補助など健やかな育児作業（あやしなど）]

間の肉体的な直接接触（スキンシップ）+泣き声による情報伝達である

グローバルに共通

誕生後2～3ヶ月後には「アー」「ウー」などの「喃語」が発声され、あやすと笑う、「ママ」「パパ」の叫び声を出して笑う。ガラガラで遊ぶ。二歳前後には二語文を話し、気持ちを言葉で表現し始め、「ワンワンいた」「パパバイバイ」などの言葉を2つつなげた二語文を話す子も多い

更に成長

言語が違う二者間では言語コミュニケーションができない。世界には8000種類に及ぶ言語がある。それは地域文化の反映でもあってそれだけ異なる地域習慣があるということである。言葉の大枠としての言語体系はグローバルには一体ではない。